

HAKKO 487

SOLDERING SYSTEM

噴流式はんだ槽 取扱説明書

●

このたびはハッコー 487 をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、お読みになった後も、後日お役に立ちますので
大切に保管しておいてください。

●

目次

1. セット内容	1
2. 仕様	1
3. 安全及び取扱い上のご注意	2
4. 各部名称	3
5. 使用方法	3
6. メンテナンス	4
7. 槽内の掃除	5・6
8. 配線図	7

1. セット内容

まず最初にセット内容をご確認ください。

本体	1
取扱説明書.....	1

2. 仕様

品名	ハッコー 487
消費電力	850W
設定温度	常温～300℃
温度精度	±2℃
はんだ容量	約15kg
ヒーター	400W × 2本
噴流口内寸	50(W) × 50(D)mm
外形寸法	330(W) × 500(D) × 250(H)mm
重量	約25kg(はんだを除く)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

●交換部品

品 番	品 名
487-101	プーリーベルト

●オプション

品 番	品 名	仕 様
B2988	フットスイッチ	2mコード、プラグ付

3. 安全及び取扱い上のご注意

警 告

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

 **警告：**誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意：**誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注 意

● 安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

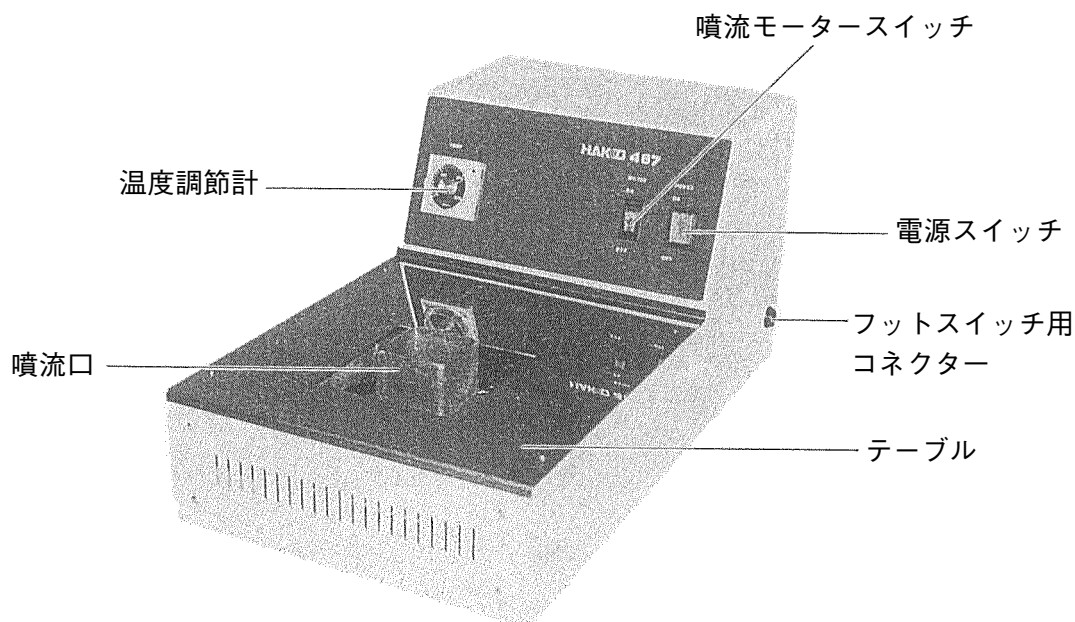
槽内の溶解したはんだは約 300℃ までにも達し危険です。また通電時は槽及び本体が高温になります。取扱いを誤るとやけど・火災の恐れがありますので以下の注意事項を必ず守ってください。

- 本器は安定のよい金属体の上で使用し、周囲に紙等の可燃物を置かない。
- はんだが飛んで危険なため、槽内に水を入れない。
- 使用を中断・終了時やその場を離れる時は電源を切る。
- 噴流ノズル交換時は、はんだが飛び散らない様十分に注意する。

● 事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- はんだ付け以外の用途で使用しない。
- 本品を改造しない。
- 交換部品には、純正部品を使用する。
- 水につけたり濡れた手で使用しない。
- メンテナンスを定期的実施する。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

4. 各部名称



5. 使用方法

△ 注意

安全のため、必ず接地してご使用ください。

1. 最初に、電源コードを所定のコンセント (100V/15A) に差し込みます。
次にパネル正面のパワースイッチを ON すると、ランプが点灯し、ヒーターが入ります。
2. 正面のパネルの温度調節計の設定温度を希望の温度に設定 (常温～300℃) します。
3. 設定温度に達すると、温度調節計のランプが点滅します。
4. 噴流モータースイッチを ON にすると、(但し設定温度に達した後) 噴流口よりはんだが噴流します。また、オプションのフットスイッチを使用する場合は、モータースイッチ OFF の状態で使用し、フットスイッチ ON の間だけ噴流します。

注記

本機の噴流は 60Hz に調節してあります。50Hz 地域での使用の場合は、裏面のパネルを開けて、プーリーベルトをプーリーの下溝に掛け換えてください。

6. メンテナンス

A. ヒーター交換

1. 本体背面パネルを開け、ヒーター接続端子の白コード4本を外してください。
2. 次に、テーブルを外し、はんだ槽上部から断熱フェルトを取り六角レンチでヒーター固定ビスをゆるめてください。
3. ヒーターを前に押し出し交換してください。

B. センサー交換

本体背面パネル内の温調器端子①②をはんだ付けで交換します。

センサーを引き抜いて交換してください。

センサーは、はんだが溶けた状態で交換してください。

注記

交換後、温調器に CA 線を接続する時極性に注意してください。

赤端子（＋） — ①

黒端子（－） — ②

7. 槽内の掃除

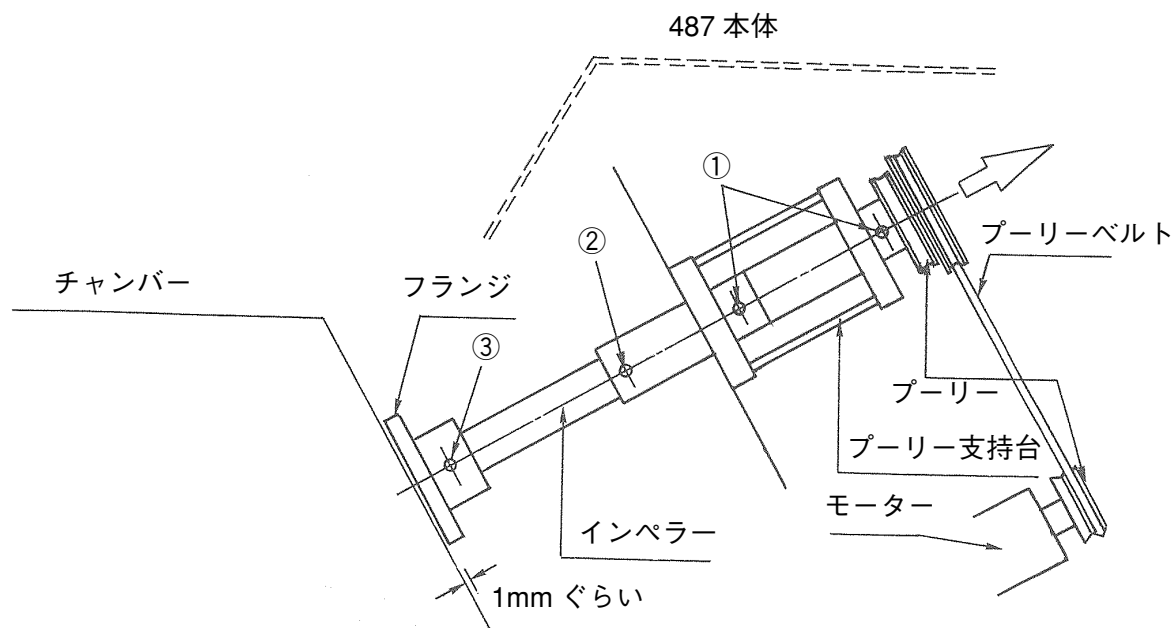
A. 酸化物の掃除

この機種は、485 タイプと異なり酸化防止剤は不要です。酸化物により断熱効果を高めていますが、酸化物が多くなった場合、下記の方法でクリーニングを行ってください。

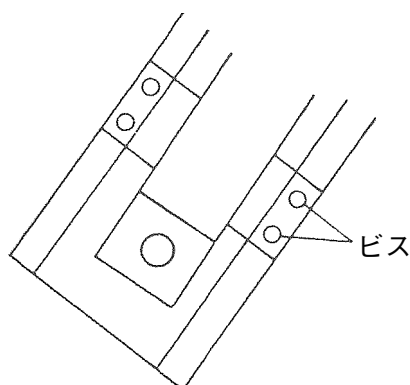
1. 槽内に溜まった酸化物は捨てないでください。（半溶融状態のきれいなはんだが残っています。） ステンレス製のスプーン等で槽内のはんだをよく攪拌して酸化物内のはんだを溶かしてください。
2. 1. が終わってから槽内の表面に溜まっている酸化物を除去してください。

B. 分解掃除

月に一回チャンバー内の掃除を行ってください。 噴流不良の原因になります。

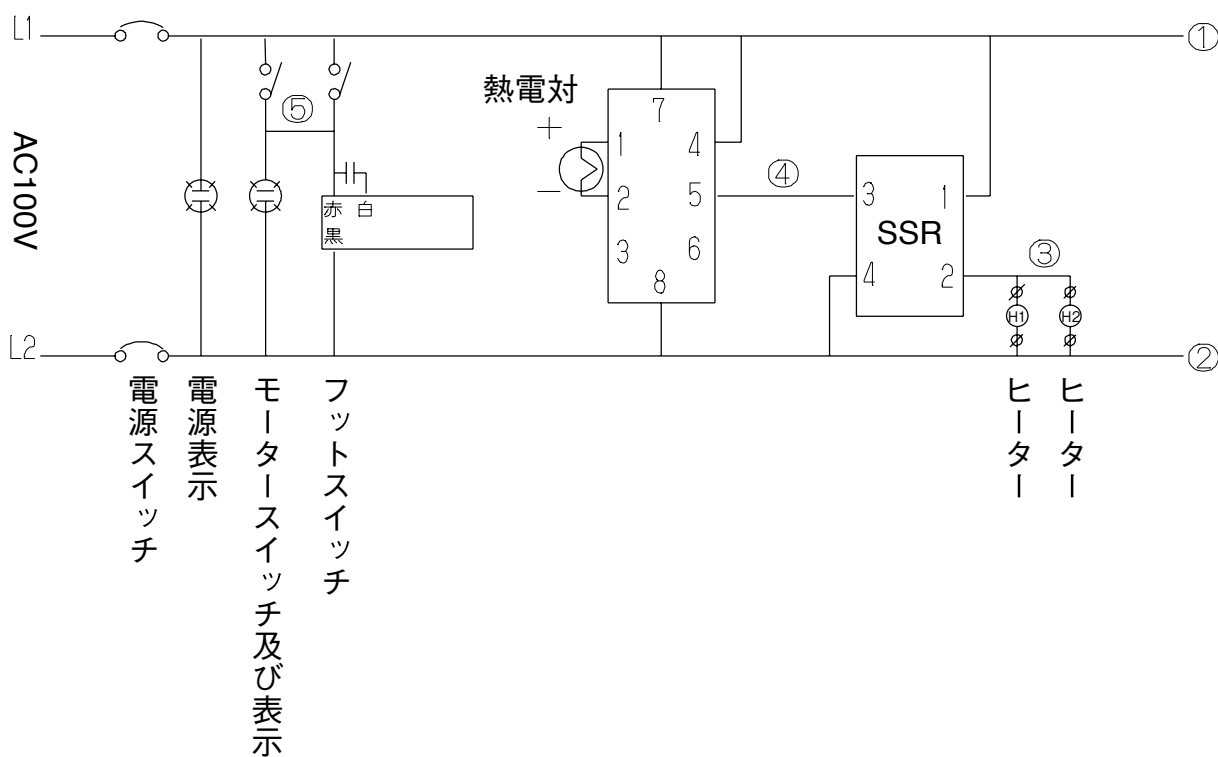


1. パワースイッチをONにしてはんだが溶けるまでお待ちください。(30～40分程)
2. チャンバーとインペラーを固定しているフランジが見えるまではんだを抜き取ってください。
フランジが見えたら、フランジの六角ネジ(対辺 2.0mm)③をゆるめてください。
3. 電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
本体の裏のカバーを外し、モーターとインペラーを連結してあるプーリーベルトをプーリーから外してください。
次にプーリー支持台のビス①2ヶ所と②を外してください。
プーリーを矢印の方向へ引き上げ、インペラーを下に落としてください。
4. チャンバーを固定してあるビスを外し、チャンバーを取り出してください。



5. チャンバーの外壁を軽くたたいて、チャンバー内のよごれ等(酸化物)を落としてください。
6. プーリー支持台とインペラーを組み立て、ビス①と②を締めます。チャンバーを槽に入れ、インペラーとモーターのプーリーにプーリーベルトを掛けます。モーターを回転させ、インペラーが底板に当たっていないか確認し、チャンバーをビス(4ヶ)で固定します。
7. フランジをインペラーに固定します。

8. 配線図



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

© 2009-2020 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.

2020.3
MA00185XZ200330